

第3学年 多様な動きをつくる運動

1 単元の目標と評価規準

	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
目標	多様な動きをつくる運動の行い方を知るとともに、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをし、それらを組み合わせることができるようにする。	自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。	多様な動きをつくる運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。
評価規準	知識・技能 ①多様な動きをつくる運動の行い方について言ったり、書いたりしている。 ②体のバランスをとる動きをすることができる。 ③体を移動する動きをすることができる。 ④基本的な動きを組み合わせる動きをすることができる。	思考・判断・表現 ①多様な動きをつくる運動の自己の課題を見付け、その課題を解決するために様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ②多様な動きを身に付けるための運動の行い方について考えたことや見付けたことを友達に伝えている。	主体的に学習に取り組む態度 ①多様な動きをつくる運動に進んで取り組もうとしている ②きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。 ③用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ④友達の考えを認めようとしている。

2 単元の指導と評価の計画

時間	1 (導入)	2 (習得)	3 (習得)	4 (活用)	5 (まとめ)
10	挨拶・健康観察				
	オリエンテーション	本時のめあてと流れの確認			
		準備運動			
	本時のめあてと流れの確認	活動Ⅰ 課題見付け	活動Ⅰ 課題解決のための運動選び	活動Ⅰ 運動の組み合わせを考えるグループ活動	活動Ⅰ 運動の組み合わせを考えるグループ活動
	活動Ⅰ 体のバランスをとる運動	活動Ⅱ 組み合わせた運動を互いに試すグループ間交流	活動Ⅱ 組み合わせた運動を互いに試すグループ間交流		
				活動Ⅱ 体を移動する運動	片付け 整理運動
	片付け・整理運動				
	振り返り・健康観察・挨拶				
	知・技	① (シート)	②③ (観察、シート)		④ (観察)
思・判・表	① (シート)		② (シート)		
態度	③ (観察)	② (観察)	④ (観察)		④ (シート)

3 本時案①【導入場面】（1時間目／5時間中）

(1) 本時のねらい

- ・多様な動きをつくる運動の行い方について知ることができるようにする。
- ・用具の準備や片付けを友達と一緒にすることができるようにする。

本時の学習評価

- ・多様な動きをつくる運動の行い方について言ったり、書いたりしている。(知識・技能)
- ・用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

(3) 学習過程

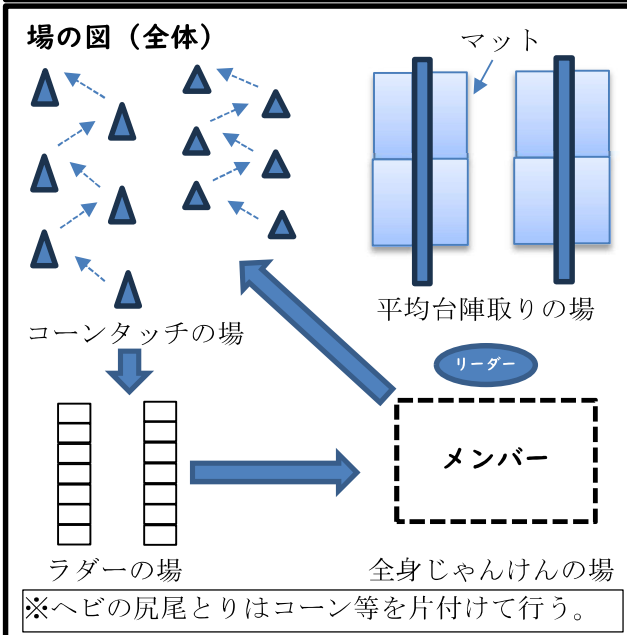
時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 1 5 分	1 挨拶・健康観察 2 オリエンテーション ○安全に学習が進められるよう、単元の学習内容、きまり、準備・片付けの仕方について知る。 ・2年生までの学習内容を確認し、3年生ではそれらの内容をさらに広げたり、動きの質を高めたりすることを確認する。 ・単元の学習内容を単元のめあてや各時間のめあてを提示し、説明しながら見通しをもたせる。 ・安全に運動を行うためのきまりや準備や片付けの手順について <u>掲示物</u> 等で説明する。 3 本時のめあてと流れの確認	
	めあて 運動の行い方を知ったり、準備や片付けを友達と一緒にしたりしながら、多様な動きをつくる運動に取り組もう。	
	評価 ・多様な動きをつくる運動の行い方について言ったり、書いたりしている。 (知識・技能) ・用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	
なか 2 5 分	4 準備運動 ○心と体をリラックスさせられるように、これまで学習した体ほぐしの運動に取り組む。 ・まねっこストレッチは呼吸を意識して、指導者の動きを真似させる。 ・ペアストレッチは、相手の状態を確かめながら、無理なく行わせる。 ・UFOは、4人グループで行い、操縦士(真ん中にいる児童)は交代しながら全員が行うことができるようにさせる。 ・みんなでボーンは、地面に落ちにくい大きめの風船を使用する。(ない場合はビーチボール) ・これまで使用した体ほぐしの運動の動画で行い方を確認する。 <u>(端末①)</u> 5 活動Ⅱ 体のバランスをとる運動 ○行い方を動画で知り、ペアやグループで取り組む。 ・事前に録画していた動画、行い方を知らせる。 <u>(端末①)</u> ・引っ張り起こし、背中合わせ立ち、手押しずもうはペアで行う。 ・平均台陣取りはグループで行う。安全面の配慮として平均台の周りにはマットを敷く。 6 活動Ⅱ 体を移動する運動 ○行い方を動画で知り、1人やグループで取り組む。 ・事前に録画していた動画、行い方を知らせる。 <u>(端末①)</u> ・全体を3グループに分け、ラダー、コーンタッチ、全身じゃんけんをローテーションで行う。その際、2～3分間程度でローテーションする。 ・全身じゃんけんの場では、リーダーを1名決め、リーダーに進行をさせる。3～4回程度でリーダーは交代するように伝える。 ・へびの尻尾とりは各グループで行い、30秒×4セットとする。その際、「先頭」「おに」はどの児童も行えるように交代して行うことを伝える。	<u>おおむね満足</u> (観察) 用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 <u>十分満足</u> 自分が行おうとするとともに、友達にも促すような声をかけている。 <u>努力を要する児童</u> <u>への手立て</u> 役割分担や手順を再度確認する。 <u>おおむね満足</u> (ワークシート) 体の動きを高める運動の行い方と言ったり書いたりしている。

ま と め 5 分	7 片付け・整理運動 <ul style="list-style-type: none"> ・平均台とマットの片付けは、必ず複数名で行い、協力してケガのないようにさせる。 ・準備運動で学習した動きを1人または2人で取り組ませる。 8 振り返り・健康観察・挨拶 <ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあての振り返りをする。(端末②) ・めあてに沿って振り返ったことや、感想をフォームに入力させる。 ・グループで振り返りや感想について発表、共有させる。 ・全体では何名かの児童に発表させ、共有できるようにする。 ・用具の準備や片付けを友達に声をかけながら行っている児童を紹介し、望ましい姿が広がるようにする。 ・今回取り組んだ運動等を、自分たちで選んだり、工夫したりしながら取り組むことを知らせ、次時につなげる。 	十分満足 多様な動きをつくる運動の行い方を詳しく言ったり書いたりしている。 努力を要する児童への手立て 示範の動画を再度見せ、知ったことを言わせる。
---------------------------	---	---

「単元を通しためあてと5時間のめあて」の提示例

単元のめあて：多様な動きを作る運動にチャレンジし、みんなでパワーアップしよう。

- ①運動の行い方を知ったり、準備や片付けを友達と一緒にしたりしながら、多様な動きをつくる運動に取り組もう。
- ②誰とでも仲よく運動に取り組みながら、自分の課題を見付けたり、その課題を解決するための運動の行い方を選んだりしよう。
- ③体のバランスをとる運動や体を移動する運動をできるようにしよう。
- ④多様な動きをつくる運動で考えたこと、見付けたことを友達に伝えたり、認めたりしよう。
- ⑤これまでの運動に進んで取り組み、基本的な動きを組み合わせた運動をできるようにしよう。



- 活動のルール (掲示物)**
1. 準備・片付けは全員で協力して行う。
 2. それぞれの運動をするときは、順番に間を空けて行う。
 3. グループの活動では、グループとグループの間に十分は間隔をとり、ぶつからないようにする。
 4. 友だちのよいところ、上手なところを認め、ふわふわ言葉を使う。
 5. 友だちを責めたり、チクチク言葉を使ったりしない。

1人1台端末の活用例

- ①事前に示範の動きを撮影し、視聴させることで動きをイメージさせる。
※基本的に示範の映像は指導者が行ったものにする。
- ②振り返りのフォーマットを作成し、振り返りの場面で入力させ、共有できるようにする。

第1時の入力フォームの項目の例

★①～②について、よくできた◎、できた○、できなかった△で振り返りましょう。

- ①準備や片付けを友達と一緒にすることができた
- ②多様な動きをつくる運動の行い方について知ることができた

★運動の行い方について知ったことを入力しましょう。

★今日の授業の感想を入力しましょう。

3 本時案②【習得場面①】(2時間目/5時間中)

(1) 本時のねらい

- 多様な動きをつくる運動の自己の課題を見付け、その課題を解決するために様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりすることができるようにする。
- きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合うことができるようにする。

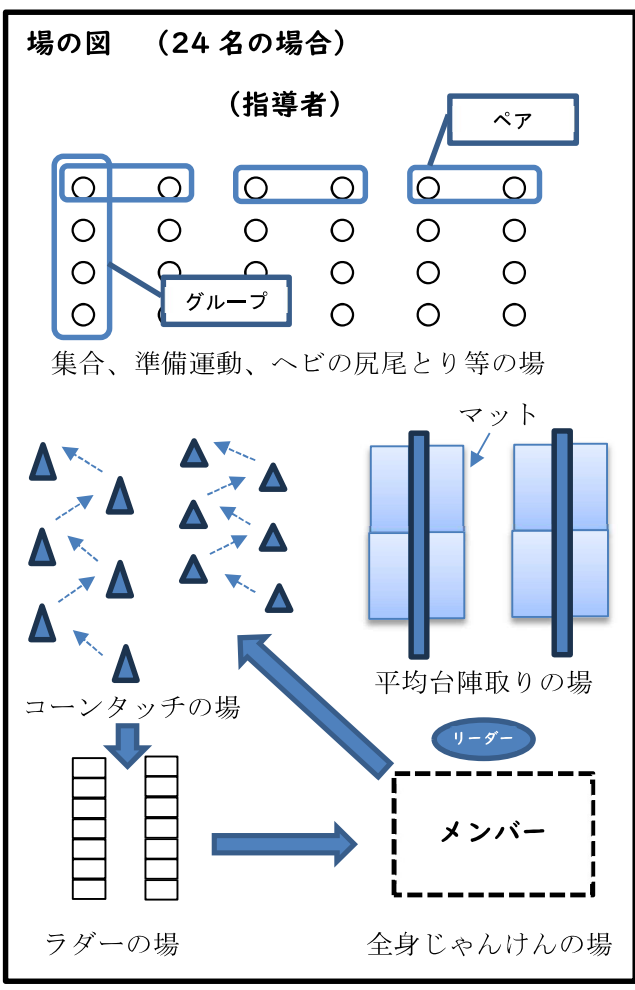
(2) 本時の学習評価

- 多様な動きをつくる運動の自己の課題を見付け、その課題を解決するために様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。(思考・判断・表現)
- きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 10分	1 挨拶・健康観察 2 本時のめあてと流れの確認	
	めあて 友達と協力しながら、自分の課題を見付け、その課題を解決する行い方を選んだり、工夫したりしよう	
	評価 ・多様な動きをつくる運動の自己の課題を見付け、その課題を解決するために様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 (思考・判断・表現) ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	
なか 25分	3 準備運動 ・まねっこストレッチ、ペアストレッチ、みんなでポーンを扱う。その際、これまで学習したことに気を付け、グループで取り組ませる。	
	4 活動Ⅰ 試しの運動や友達との見合いによる課題見付け ○多様な動きをつくる運動に取り組みながら、自分の実感や友達との見合い等で自分の課題を見付ける。 ・引っ張り起こし、背中合わせ立ち、手押しすもうにペアで取り組み、やってみてうまくいったこと、そうでないことを交流させる。また、4人組にし、互いのペアの動きを交代で見て気になったこと等を交流させる。 ・平均台陣取りは8人グループで取り組み、上記の運動と同様に課題を見付けることができるようにする。 ・ラダー、コーンタッチ、全身じゃんけんは3グループでローテーションしながら取り組ませる。運動→交流を3回繰り返し、それぞれの運動の課題に気付くことができるようにする。ヘビの尻尾とりはグループごとに一斉に行い、全員が「先頭」「おに」に取り組むことができたなら、それぞれが気付いた課題を交流させる。 ・必要に応じて互いの動きをタブレットで撮影し、見せながら説明できるようにする。 <u>(端末③)</u> 5 活動Ⅱ 運動選びや運動の工夫による課題解決 ○自分の課題を確認し、ペアやグループで解決のために運動を選んだり、運動を工夫したりする。 ・自分が見付けた運動の課題をタブレットに入力し、友達と課題を交流し共有させることで見合う視点にする。 <u>(端末④)</u> ・基本はペアで活動し、必要に応じてグループになることを確認する。合せて、安全面で気を付けることを再度確認する。 ・解決するためには、運動の際に「姿勢」「速さ」「リズム」「方向」を具体的にどうすればよいかを問いかけながら、工夫の視点をもたせる。「低く⇔高く」「速く⇔遅く」「右⇔左」「前⇔後ろ」「小さく⇔大きく」	<p><u>おおむね満足</u>(観察) きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。</p> <p><u>十分満足</u> 自分が行おうとしているとともに、友達にも促すような声をかけている。</p> <p><u>努力を要する児童への手立て</u> きまりやグループ活動の必要性について確認する。</p> <p><u>おおむね満足</u> (ワークシート) 多様な動きをつくる運動の自己の課題を見付け、その課題を解決するために様々な運動の行い方を選んでいる。</p>

まとめ 5 分	<p>6 片付け・整理運動</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなで協力しながら取り組むようにさせる。 これまで学習した動きを1人または2人で取り組ませる。 <p>7 振り返り・健康観察・挨拶</p> <p>○本時のめあての振り返りをする。(端末②)</p> <ul style="list-style-type: none"> めあてに沿って振り返ったことや、感想をフォームに入力させる。 グループで振り返りや感想について発表、共有させる。 全体では何名かの児童に発表させ、共有できるようにする。 友達を励ましながら運動したり、課題解決のため運動を工夫して取り組んだりしている児童を紹介し、望ましい姿が広がるようにする。 今回取り組んだ運動等を、自分たちで選んだり、工夫したりしながらさらに動きを高めることを知らせ、次時につなげる。 	<p>十分満足</p> <p>その課題を解決するために行き方を選んだり、工夫したりしている。</p> <p>努力を要する児童への手立て</p> <p>自分の課題や行き方の工夫の視点等を確認させる。</p>
---------------	---	--



第2時の入力フォームの項目の例

★①～④について、よくできた◎、できた○、できなかった△で振り返りましょう。

- ①きまりを守ることができましたか
- ②友達と協力して活動できましたか
- ③自分の課題を見付けることができましたか
- ④その課題を解決するために運動を選んだり、工夫したりすることができましたか

★今日の授業の感想を入力しましょう。

1人1台端末の活用例

- ③互いの動きを撮影し、自分の姿や動きを視聴し、示範の動きと比較することで課題を見つけやすくする。
- ④自分が見付けた課題等をタブレットに入力することで、友達に課題等を説明しやすくしたり、課題解決の過程がわかるようにしたりする。(フォーマット例は右図参照)

課題見付けと解決のためのフォーム例

運動名	見付けた課題	解決のために選んだこと、工夫したこと	取り組んだ感想
引っ張り起こし			
背中合わせ立ち			
手押しずもう			
平均台陣取り			
ラダー			
コーンタッチ			
全身じゃんけん			
ヘビの尻尾とり			

3 本時案③【習得場面②】(3時間目/5時間中)

(1) 本時のねらい

- ・体のバランスをとる動きをすることができるようにする。
- ・体を移動する動きをすることができるようにする。

(2) 本時の学習評価

- ・体のバランスをとる動きをすることができる。(知識・技能)
- ・体を移動する動きをすることができる。(知識・技能)

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 10分	<p>1 挨拶・健康観察</p> <p>2 本時のめあてと流れの確認</p> <p>めあて 体のバランスをとる動きや体を移動する動きをパワーアップさせよう</p> <p>評価 ・体のバランスをとる動きをすることができる。(知識・技能) ・体を移動する動きをすることができる。(知識・技能)</p> <p>3 準備運動</p> <p>・まねっこストレッチ、ペアストレッチ、みんなでポーンを扱う。その際、これまで学習したことに気を付け、グループで取り組ませる。</p>	
なか 25分	<p>4 活動Ⅰ 課題の再設定と課題解決のための運動選び</p> <p>○自分の課題を再度確認し、ペアやグループで解決のために運動を選び直したり、運動を工夫したりする。</p> <p>・自分が確認した運動の課題を友達と交流したり、ペアの課題で気付いたことを伝えたりすることで、より自分に合った課題を捉えることにつなげさせる。必要に応じてタブレットに入力させる。(端末④)</p> <p>・前時に扱った解決のための視点を再度確認し、行い方の工夫につなげる。「低く⇔高く」「速く⇔遅く」「右⇔左」「前⇔後ろ」「小さく⇔大きく」等</p> <p>5 活動Ⅱ パワーアップタイム</p> <p>○これまでに扱った運動にペアやグループで取り組み、動きを高める。</p> <p>・これまでに扱った運動や自分たちで工夫した運動を選んで取り組ませる。</p> <p>・4人グループを2つ合せて大きな1グループ(8人)とし、全体を3つに分ける。8人グループの中で、内容や人数(2人、4人、8人)等を話し合い、活動させる。</p> <p>・指導者は、8人グループの運動の様子を順に観察し、評価する。その際、体のバランスをとる動きと体を移動する動きはどちらも1つは選び、取り組ませる。1グループ当たり、4~5分間程度とする。</p> <p>・うまく運動できない児童やグループには、運動の選び直しをさせたり、再度運動の様子を観察することを伝えたりする。</p>	<p><u>おおむね満足</u> (観察・ワークシート) 体のバランスを取る動きや体を移動させる動きをすることができる。</p> <p><u>十分満足</u> いろいろな体のバランスを取る動きや体を移動させる動きをすることができる。</p> <p><u>努力を要する児童への手立て</u> 運動の選び直しをさせたり、グループ内で気付いたことを教えたりさせる。</p>
まとめ 10分	<p>6 片付け・整理運動</p> <p>・運動の場の片付けは、グループごとに分担し、必ず複数名でさせる等ケガがないようにさせる。</p> <p>・ストレッチ系の運動を選び、グループで取り組ませる。</p> <p>7 振り返り・健康観察・挨拶</p> <p>○本時のめあての振り返りをする。(端末②)</p> <p>・めあてに沿って振り返ったことや、感想をフォームに入力させる。</p> <p>・グループで振り返りや感想について発表、共有させる。</p> <p>・全体では何名かの児童に発表させ、共有できるようにする。</p> <p>・児童を紹介し、望ましい姿が広がるようにする。</p> <p>・これまでに取り組んだ運動等を、自分たちで組み合わせて取り組むことを知らせ、次時につなげる。</p>	

第3時の入力フォームの項目の例

★次の運動について、よくできた◎、できた○、できなかった△で振り返りましょう。その理由も入力しましょう。(◎と△の時だけ入力する)

運動名	よくできた◎ できた○ できなかった△	◎よくできた理由 △できなかった理由
引っ張り起こし		
背中合わせ立ち		
手押しすもう		
平均台陣取り		
ラダー		
コーンタッチ		
全身じゃんけん		
ヘビの尻尾とり		

★今日の授業の感想を入力しましょう。

指導者の記録簿の例

◎と△のみ記入する（気になる点は備考欄へ）

出席番号	①	②	③	④	⑤	⑥…
引っ張り起こし						
背中合わせ立ち						
手押しすもう						
平均台陣取り						
ラダー						
コーンタッチ						
全身じゃんけん						
ヘビの尻尾とり						
備考欄						

3 本時案④【活用場面】（4時間目／5時間中）

(1) 本時のねらい

- 多様な動きを身に付けるための運動の行い方について考えたことや見付けたことを友達に伝えることができるようにする。
- 友達の考えを認めることができるようにする。

(2) 本時の学習評価

- 多様な動きを身に付けるための運動の行い方について考えたことや見付けたことを友達に伝えている。(思考・判断・表現)
- 友達の考えを認めようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 10分	1 挨拶・健康観察 2 準備運動 ・まねっこストレッチ、ペアストレッチ、UFOを扱う。その際、これまで学習したことに気を付け、グループで取り組ませる。 3 本時のめあてと評価項目の確認	
	めあて 友達と伝え合いながら、これまでの運動を組み合わせた（オリジナルの）運動を考えよう。	
	評価 ・多様な動きを身に付けるための運動の行い方について考えたことや見付けたことを友達に伝えている。(思考・判断・表現) ・友達の考えを認めようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	
	・これまで学習した運動の中から選んで、運動を組み合わせ、取り組むことを伝える。 ・組み合わせる際に、自分の得意な運動ばかりでなく、苦手を感じている運動も選ぶ等、いろいろな運動を選ぶことを伝える。 ・友達の動きを見て、組み合わせの参考にしてもよいことを伝える。必要に応じて、前時までに撮影した映像やこの場で撮影した映像を参考にさせる。(端末③)	
なか 25分	4 活動Ⅰ グループ内活動 ○体のバランスと体を移動する運動の組み合わせをグループ内で考えたり、話し合ったりする。 ・2人以上で運動の組み合わせをしてもよいことを伝える。 ・「姿勢」「速さ」「リズム」「方向」等にも着目して工夫するように伝える。 ・グループ内で運動の組み合わせを実際に試しながら考えさせることで、より工夫できるようにする。 ・平均台の周りにマットを敷き、安全面の配慮を行う。 5 活動Ⅱ グループ間交流 ○組み合わせた（オリジナルの）運動をグループ間で互いに紹介したり、試したりする。 ・説明、演示する→試す→感想等を伝える」の流れで取り組ませる。 ・2つのグループをペアにする。活動時間を10分間とし、済んだらペアのグループを交代させる。デジタルタイマー等をセットし、一斉に交代できるようにする。 ・必要に応じて、自分たちの動きを撮影してよいことを伝える。 ○試したり、伝えられたりしたことを基に、運動の組み合わせを見直したり、バージョンアップさせたりする。 ・必要に応じてタブレットで撮影した映像を活用してもよいことを伝える。(端末③) ・最終的に自分たちが組み合わせた運動にネーミングさせる。	<u>おおむね満足</u> (観察・ワークシート) 多様な動きを身に付けるための運動の行い方について考えたことや見付けたことを友達に伝えている。 <u>十分満足</u> 考えたことや見付けたことを詳しく友達に伝えている。 <u>努力を要する児童への手立て</u> 試してみてもよいと感じた運動等を伝えさせる。

<p>まとめ 10分</p>	<p>6 片付け・整理運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の場の片付けは、グループごとに分担し、必ず複数名でさせる等ケガがないようにさせる。 ・ストレッチ系の運動を選び、グループで取り組ませる。 <p>7 振り返り・健康観察・挨拶</p> <p>○本時のめあての振り返りをする。(端末②)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてに沿って振り返ったことや、感想をフォームに入力させる。 ・グループで振り返りや感想について発表、共有させる。 ・全体では何名かの児童に発表させ、共有できるようにする。 ・指導者が撮影した動画(よかった動き)を見せ紹介する。・児童を紹介し、望ましい姿が広がるようにする。 ・次時はグループで完成させた(オリジナルの)運動を互いに試すことを伝え、意欲を高める。 	<p>おおむね満足 (観察・ワークシート)</p> <p>友達の考えを認めようとしている。</p> <p>十分満足 考えを認め、一緒に解決しようとしている。</p> <p>努力を要する児童へ の手立て</p> <p>その友達の頑張りを伝えたり、共感することはないかを問いかけたりする。</p>
--------------------	--	--

第4時の入力フォームの項目の例

★①～③のことについて、よくできた◎、できた○、できなかった△で振り返りましょう。

- ①運動の組み合わせを考えることができましたか。
- ②考えたことや見付けたことを友達に伝えることができましたか。
- ③友達の考えを認めることができましたか。

★友達にどんなことを伝えましたか。伝えたことをくわしく入力しましょう。

★友達の考えを認め、一緒に解決しようとしたことがあれば、そのことについてくわしく入力しましょう。

★今日の授業の感想を入力しましょう。

3 本時案⑤【まとめ場面】(5時間目/5時間中)

(1) 本時のねらい

- ・基本的な動きを組み合わせる動きをすることができるようにする。
- ・多様な動きをつくる運動に進んで取り組もうとすることができるようにする。

(2) 本時の学習評価

- ・基本的な動きを組み合わせる動きをすることができる。(知識・技能)
- ・多様な動きをつくる運動に進んで取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 7分	1 挨拶・健康観察 2 準備運動 ・まねっこストレッチ、ペアストレッチ、UFOを扱う。その際、これまで学習したことに気を付け、グループで取り組ませる。 3 本時のめあてと評価項目の確認 めあて 組み合わせた(オリジナルの)運動に進んで取り組み、できるようにしよう。	
	評価 ・基本的な動きを組み合わせる動きをすることができる。(知識・技能) ・多様な動きをつくる運動に進んで取り組もうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度) ・前時までに組み合わせた(オリジナルの)運動をグループ間で互いに紹介したり、試したりすることを伝える。	
なか 25分	4 活動Ⅰ グループ内活動 ○前時までに自分たちで試したり、友達からもらったアドバイスを基にグループ内の組み合わせの運動を確認したり、見直ししたりする。 ・見直す場合は、時間内(8分程度)で行えるものにするように伝える。 ・平均台の周りにマットを敷き、安全面の配慮を行う。 5 活動Ⅱ グループ間交流 ○組み合わせた(オリジナルの)運動をグループ間で互いに紹介したり、試したりする。 ・「説明、演示する→試す→感想等を伝える」の流れや活動時間等を確認する。合せてペアを組むグループや順番を紹介する。 ・必要に応じて、自分たちの動きを撮影してよいことを伝える。	<u>おおむね満足</u> (観察・ワークシート) 基本的な動きを組み合わせる動きをすることができる。 <u>十分満足</u> 基本的な動きを組み合わせる動きを何種類もすることができる。 <u>努力を要する児童への手立て</u> 組み合わせの例を示し試させる。
まとめ 13分	6 片付け・整理運動 ・運動の場の片付けは、グループごとに分担し、必ず複数名でさせる等ケガがないようにさせる。 ・ストレッチ系の運動を選び、グループで取り組ませる。 7 振り返り・健康観察・挨拶 ○本時のめあてや単元全体の振り返りをする。 <u>(端末②)</u> ・めあてに沿って振り返ったことや、感想をフォームに入力させる。 ・単元を通して学んだこと、発見したこと等もフォームに入力させる。 ・グループで振り返りや感想について発表、共有させる。 ・全体では何名かの児童に発表させ、共有できるようにする。 ・指導者が撮影した動画(よかった動き)を見せ紹介する。 ・意欲的に取り組んでいた児童等を紹介し、次の単元でも意欲的に取り組めるようにする。	<u>おおむね満足</u> (観察・ワークシート) 多様な動きをつくる運動に進んで取り組もうとしている。 <u>十分満足</u> いろいろな工夫をしながら進んで取り組もうとしている。 <u>努力を要する児童への手立て</u> 自分が取り組んでみたい運動を選ばせ、取り組むように促す。

第5時の入力フォームの項目の例

★次のことについて、よくできた◎、できた○、できなかった△で振り返りましょう。

組み合わせた動きに進んで取り組むことができましたか

★組み合わせた動きはいくつできましたか

★できた組み合わせの動きの名前を入力しましょう

★今日の授業の感想を入力しましょう。

★この単元全体の学習の感想を入力しましょう。(学んだこと、発見したこと等)